

高校生の修学・就職の支援を!

教組共闘の県要請に同席



県に要請する教組共闘の人たち(左側)と、同席するゆり子県議(右から3人目)=9日、県庁

授業料軽減、雇用促進など切実な訴え

9日、山形県教組共闘を含む教組共闘東北ブロックの代表が、県に対して、「高校生・青年の修学・進路の保障を求める要請」を行い、日本共産党県議団も同席

しました。

要請内容は、高校の授業料軽減・奨学金制度充実や新規高卒者の雇用促進、そして青年労働者の労働環境の改善などを柱とする8項目となっております。

労政課長が対応し、「民主党が授業料無償化を主張している。新政権の動向を見ながら減免も含めて適正に対処していきたい」、「高校生就職については、企業や団体への要請を今後も続け、雇用確保につとめたい」と答えま

高校の先生方から話を聞くと

県内の求人倍率は0.42となっておりますが、県内を希望したいが当初からあきらめて県外を求めている人や、専門学校などへ進路変更している高校生も出てくることとです。

求職者全体に対する

県内求人は、982/2989で0.33にしかすぎません。厚労省発表全国平均は0.71で、東北はいずれも低

く、青森0.16、岩手0.23、宮城0.45、秋田0.26、福島0.

新規高卒者に限らず、地方の雇用は厳しい状

態が続いています。新政権のもとで、労働者

代表者として声を届けていきます。

県内高校生対象求人は半減

来春卒業予定の高校生の求職・求人状況

	求職者	求人数	求人倍率
全体	2989	2774	0.78
県内	2109	982	0.47

山形労働局発表/7月末現在

求人数全体は、前年同期比 50.7% (2338人) 減少
県内は、同 53.5% (1132人) 減少

9日、志位和夫委員長が東京で行った党創立記念講演の、衛星通信による視聴会が日本共産党山形県委員会で開催されました。

比例代表東北ブロックの高橋ちづ子衆院議員はじめ、総選挙で当選した議員のあいさつに続き、講演が行われました。



志位委員長が、総選挙の結果について、「単に自公政権が崩壊しただけでなく、『財界中心』『日米軍事同盟中

日本共産党創立87周年記念講演会

の政治悪』を特徴とする自民党政治そのものの崩壊過程が始まった」と述べた点は、まさに実感です。

そして、今後はまさに、日本国民とともにいかに前に進めるかにかかっているという点については、日本共産党の一員として、期待も責任も大きくなって

永年党員祝賀会に参加

13日、日本共産党村山地区委員会が、1979年に共産党に入党して30年経過した方々の祝賀会が開かれ、参加しました。

総選挙活動にもふれながら、みなさんの入党の経過や活動への思いも語り、今後の健闘を誓い合いました。80代の方が

若いときから入っておけばよかった」と語ったのが印象的でした。

日本共産党を応援して下さっている方、大歓迎です。どうぞ、日本共産党に入ってください!



ゆり子の視点

6日、県民芸術祭記念公演の喜劇劇「こもり」を観劇しました。

芸術・文化の力

時間の都合で残念ながら最後まで見る事ができませんでしたが、楽しませていただきました。各団体のみなさん総結集でエネルギーを感じた舞台でした。

芸術・文化は、見てもおなかがいっぱいになるわけではありません。しかし、自殺を決心して最後にと思ってしまった映画や聴いた音楽で、自殺を思いとどまったという話を聞いたことがあります。生きていることのすばらしさ・豊かさを感じさせる力が、芸術や文化にはあります。

家で高齢者介護でがんばっている方が、「これが唯一の楽しみなの」と、踊りのサークルに参加して地域の文化祭でいきいきと発表している姿を目にしたこともあります。

それぞれの内面の豊かさを広げてくれる芸術・文化の力は、生きていくうえで欠かせないものではないでしょうか。

季節は秋、様々な行事が企画されています。地域の公民館の文化祭や各団体の発表・展覧会、山形市の国際ドキュメンタリー映画祭など...

みなさんも、どうぞ見て、聴いて、参加して、生きるエネルギーを共有してください。